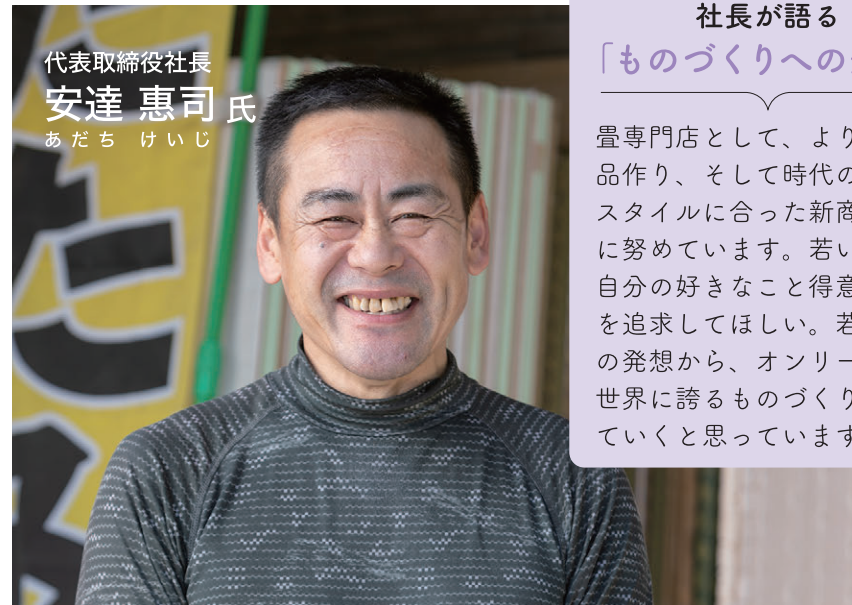




代表取締役社長
安達 恵司 氏
あだち けいじ

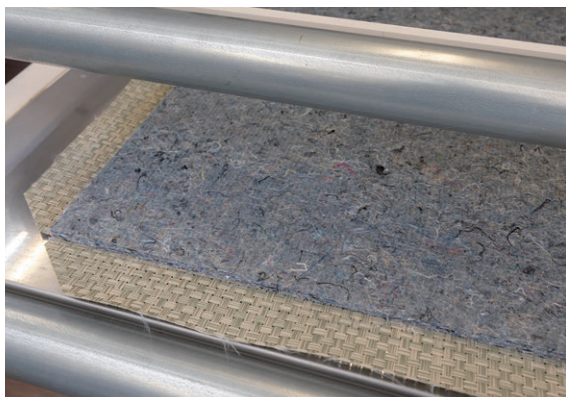
社長が語る
「ものづくりへの想い」

畳専門店として、より良い製品作り、そして時代のライフスタイルに合った新商品作りに努めています。若い人には自分の好きなこと得意なことを追求してほしい。若い世代の発想から、オンリーワンが世界に誇るものづくりを支えていくと思っています。



こちらでも導入した畳の素材を折る機械。以前は寸法の裁断から、手作業で包丁の刃先で折り曲げまでしていたが、機械に入れただけできれいに折れる。

畳の中はフェルトを使用しているのでクッション性や防音効果にも優れている。特殊技術により、ホコリも立ちにくく衛生的。



monozukuri
17
その他製造
有限会社
安達製畳所
〒870-0115
大分県大分市大字関園742番地の1
TEL 097-527-2006

畳。まだ知名度が高くないだけに、「お客様と対面し、顔を見てきちんと商品の良さを伝えたい」という安達社長。新築やリフォームも提案し、興味のある顧客には貸出も行い使用感を試してもらうほど、自らが誇る商品の良さを丁寧にアピール。その成果もあり、気軽に置けてリラクゼーション感もある高い評価を受けています。

畳の良さを伝えながら、
新商品で新規顧客層を開拓
ユニット畳は、時代の流れと共に歩んできた製畳所だからこそ開発されたオリジナル商品でした。地域密着で従来通り畳の良さを伝えながらも、今後は新情報を取り入れながら県内外の新規顧客層、また若年層へも幅広く展開。多様性の時代に合った、多彩な畳を提案していきます。



畳の素材を貼り付け圧縮する機械は、もう一台と連動して使用。

町の「たたみ屋さん」として55年以上、2代に渡って地域の家々に日本伝統の畳を提供してきた安達製畳所。しかし近年の和室離れから、顧客層への事業展開だけでは厳しい状況下になりました。そんな中、洋室でもゴロンとなり、コタツも使いたいという顧客の要望から安達社長が思い付いたのが、フロー

創業から55年以上の実績を誇る
地域に根付いた畳専門店

きっかけは、いい素材との出会いから。へりなし畳製造に使用する専門機械の導入をした際、この機械のメーカーが扱っている素材を見て「新しいユニット畳作りに活かせないか」と発案。主

洋室でもゴロンとなれる
ユニット畳「フェルデイ」を開発

「フェルデイ」は置くだけでフローリングが手軽に和室空間になるユニット

使用感をリサーチするためにも
対面販売を大切に

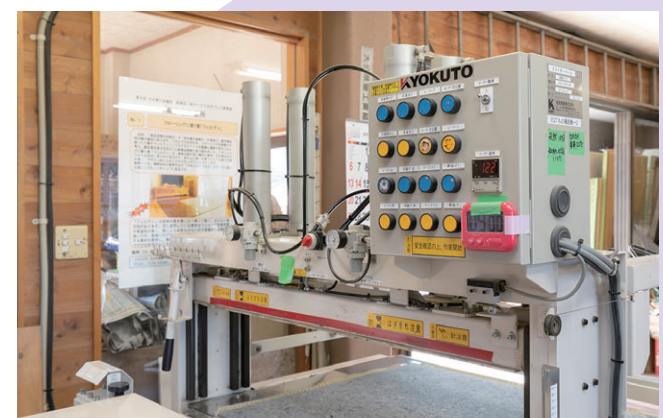
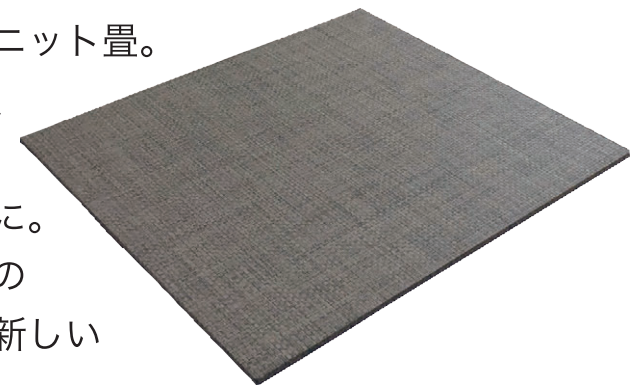
婦目線でアイデアを出す妻の英子さんと共に試行錯誤の末、フローリングにも合う、軽量で滑らず、丈夫で、さらに防音効果もあるユニット畳「フェルデイ」が誕生したのです。

monozukuri-12
adachi seijyosyo

12 有限会社 安達製畳所

歴史ある地域密着の製畳所が オリジナルユニット畳を開発

ありそうでなかった洋間にも合うおしゃれなユニット畳。導入した機械から、オリジナル製品を開発するきっかけに。実績を誇る製畳所のしなやかな発想が新しいモノを作りだす。



最近、新築やリノベーションで需要も増えてきたへりなし畳専用の機械を導入。一台は折り曲げ、もう一台は圧着する。手作業で2日掛かっていたが、手作業より早く、きれいにできて、わずか半日で仕上がるので効率もアップされた。この機械により、置き畳の商品開発も実現した。

導入のポイント！
へりなし畳を
効率的に製造する専用機械